

「気づきの事例検討会」 発進



今回は渡部律子先生の「気づきの事例検討会」を再度見つめなおすことを目的に下記内容で研修を行うこととなりました。今一度 渡部律子先生の著書を使用しながら ～スーパーバイザーがいなくても実践力は高められる～を 学ぼうという企画です。

第1回目は

2021年8月1日(日) 14:00～…講演は2時間 その後16:00より質疑応答フリートーク17:00終了

講師

兵庫県対人援助研究所 主宰 フリーランス講師・スーパーバイザー

稲松 真人 先生(いなまつ まこと)

ご略歴

- 1961 4月 神戸市に生まれる
- 1986 3月 関西大学文学部教育学科心理学専修卒業
- 1986 4月 身体障害者療護施設「博由園」に指導員として就職
- 1998 4月 特別養護老人ホーム「ハピータウンK O B E」「灘の浜高齢者介護支援センター」副施設長として転勤
- 2005 4月 同施設 施設長
- 2010 9月 同施設退職 フリーランス講師・スーパーバイザー「兵庫県対人援助研究所 主宰」

ご職歴

- 神戸市ケアマネジャー連絡会 相談役(2005～)
- 兵庫県介護支援専門員実務研修・専門研修講師(2002～)
- 兵庫県主任介護支援専門員研修講師(2008～)
- 兵庫県介護支援専門員協会 研修単位認定制度委員(2003～)
- 兵庫県チーム気づきの講師メンバー(2007～)
- 兵庫県民生委員児童委員新任研修講師(2014～)
- 日本ケアマネジメント学会代議員(2015～)

テーマ:「事例検討会は必要か?!」～気づきの事例検討会をなぜ推奨するのか～

内容

- * 対人援助職という仕事、人間関係
- * 事例検討会、事例をふり返る意味について
- * 「気づきの事例検討会」とは
 - ・実践への経緯
 - ・スーパービジョンとの関連について
内省的学習(省察的実践へのいざない)
 - ・実践に関するトレーニング
- * 「気づきの事例検討会」実施に向けた共通項
 - ・ルール
 - ・基本・基礎学習の大切さ
- * 「気づきの事例検討会」に対する誤解

申し込み方法

下記の申し込みフォームよりお申し込みください。

<https://forms.gle/gt77Dze3NCwYwzr58>

QRコードからも申し込みいただけます。



方法: オンライン (Zoom)

定員: 48名 (先着順)

参加費: 無料

用意いただくもの: 渡部律子先生著書

「気づきの事例検討会」

